

区域指定時着手済工事に係る届出書の記入例と添付書類 [土石の堆積に関する工事の場合]

国様式16「土石の堆積に関する工事の届出書」

様式第十六
土石の堆積に関する工事の届出書
令和〇年〇月〇日

第21条第1項
宅地造成等工事規制区域
第40条第1項
特定盛土等規制区域

宅地造成及び特定盛土等規制法 第21条第1項 の規定により、下記の工事について届出ます。

記	
1 工事施行者住所氏名	鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇-〇 〇〇建設(株) 代表取締役 〇〇 〇〇
2 工事をしている土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇番〇 (緯度: 北緯37度 71分 86秒 3, (経度: 東経130度 28分 25秒 4)
3 工事をしている土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル
4 土石の堆積高さ 最大の堆積高さ	〇.〇 メートル
5 土石の堆積を行う土地の面積	〇.〇 平方メートル
6 土石の堆積土量 最大の堆積土量	〇.〇 立方メートル
7 工事着手年月日	令和〇年〇月〇日
8 工事完了予定年月日	令和〇年〇月〇日
9 工事の進捗状況	(例) ・ストックヤードとして運営中であり、許容量全体の70%を使用中。 ・工事に伴う一時仮置き場として使用中であり、5.5mの高さ、300.0㎡まで堆積済み。

記載方法及び留意事項

工事主住所氏名

土地所有者、宅地造成等に関する工事の請負契約の注文者又は請負契約によらないで自らその工事をする者を記入。

1 工事施行者住所氏名

工事を現地で実際に施行している者を記入。

2 工事をしている土地の所在地及び地番

- 土地の登記事項証明書に記載された所在・地番を記入してください。なお、二筆以上にわたる場合は、当該地番全てを記入。
- 緯度、経度については、当該土地の中で面積が最大となる代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第1位まで記入。

3 工事をしている土地の面積

「2欄」の土地の総面積を記入。
(実測又は土地の登記事項証明書に記載された面積)

4 土石の堆積の最大堆積高さ

実際に土石を堆積する高さ(計画における最大値)を記入。
(※届出規模判定高さ)

5 土石の堆積を行う土地の面積

実際に土石の堆積を行う部分の総面積(計画における最大値)を記入。
(※届出規模判定面積)

6 土石の堆積の最大堆積土量

実際に土石を堆積する部分の総土量(計画における最大値)を記入。

7~8 工事着手年月日/工事完了予定年月日

工事に着手した日、完了予定年月日を記入。

9 工事の進捗状況

土地利用の目的及び提出時点での進捗状況を記載してください。別添で工程表や図面を添付することも可。

※申請者、工事主及び工事施行者が法人である場合には、氏名はその法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

添付書類 下表に示す図面を添付して提出してください。

図面の種類	明示すべき事項	縮尺	備考
位置図	方位、道路及び目標となる地物	1/10,000以上	
地形図	方位、土地の境界線	1/2,500以上	等高線は2mの標高差を示すものとする
土地の平面図	方位、土地の境界線、作業構台等、空地の位置、柵等の位置、排水施設、土砂の流出防止措置	1/500以上	

※次の①又は②に該当する規模の工事である場合は、上表の図面に加え、土石の堆積を行っている土地及びその付近の状況が分かる写真等を添付してください。

- ① 高さが5mを超える土石の堆積で、その面積が1,500㎡を超えるもの
 - ② ①に該当しない土石の堆積で、その面積が3,000㎡を超えるもの
(堆積前の地盤面と堆積後の標高差が50cmを超える場合)
- ※上記の他、工事内容の確認に必要な書類・図面も合わせて添付してください。